

2023年2月10日

各位

会社名 株式会社ジャパンディスプレイ
 代表者名 代表執行役会長CEO スコット キャロン
 (コード番号 6740 東証プライム)
 問合せ先 代表執行役CFO 大河内 聡人
 (TEL. 03-6732-8100)

2023年3月期第3四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想修正のお知らせ

2022年11月10日に発表しました2023年3月期第3四半期の連結業績予想と本日発表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。また、2022年11月10日に発表いたしました2023年3月期通期の連結売上高、EBITDA、営業利益、経常利益の予想を下方修正し、親会社株主に帰属する当期純利益の予想を上方修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 2023年3月期第3四半期連結業績予想と実績との差異

(1) 当第3四半期会計期間(2022年10月1日～2022年12月31日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	75,600	△7,000	△9,000	△9,300	△9,600	
実績値 (B)	69,735	△8,516	△10,600	△12,586	△5,750	△1.22
増減額 (B-A)	-5,865	-1,516	-1,600	-3,286	+3,850	
増減率 (%)	-7.8%	—	—	—	—	
(ご参考) 前年同期実績 (2022年3月期第3四半期)	71,657	△927	△3,084	△2,502	2,422	0.57

(2) 当第3四半期累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	213,896	△14,485	△20,779	△17,701	△21,233	
実績値 (B)	208,032	△16,002	△22,380	△20,988	△17,384	△3.69
増減額 (B-A)	-5,864	-1,517	-1,601	-3,287	+3,849	
増減率 (%)	-2.7%	—	—	—	—	
(ご参考) 前年同期実績 (2022年3月期第3四半期)	209,518	△3,688	△10,117	△10,073	△6,330	△1.70

(2) 差異の理由

世界的なインフレによる民生機器向け需要の減少及び半導体等の部材不足の影響により、当第3四半期会計期間の売上高、EBITDA及び営業利益が前回発表予想に対し下振れいたしました。これに加え、為替差損1,611百万円の計上等により、経常利益も前回発表予想に対して下振れいたしました。また、2022年12月30日付「(開示事項の経過) 連結子会社株式の譲渡完了並びに特別利益及び特別損失計上のお知らせ」にてお知らせいたしました当社中国製造子会社株式の譲渡に係る関係会社株式売却益(特別利益)については13,471百万円を、事業構造改善費用(特別損失)については5,273百万円を、それぞれ当第3四半期会計期間に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前回発表予想に対し上振れいたしました。

なお、当第3四半期会計期間の業績予想の前提為替レートは1米ドル=145円としておりましたが、実績為替レートは1米ドル=141.4円となっております。

2023年3月期第3四半期連結業績の詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

2. 2023年3月期通期連結業績予想の修正

(1) 2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	280,000	△26,400	△34,900	△32,000	△35,800	△7.59
今回発表予想 (B)	266,000	△39,100	△47,300	△46,400	△31,900	△6.74
増減額 (B-A)	-14,000	-12,700	-12,400	-14,400	+3,900	
増減率 (%)	-5.0%	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	295,946	161	△8,576	△7,964	△8,096	△2.08

(2) 修正の理由

世界的なインフレによる民生機器向け需要の減少や半導体等の部材不足による自動車メーカーの生産調整に伴う更なるディスプレイ需要の減少リスク及び当第3四半期会計期間の実績を踏まえ、前回発表の通期売上高予想を下方修正いたします。また、売上高の減少、部材・エネルギー・輸送費等のコスト上昇分の販売価格への転嫁の遅れ、在庫評価減リスク等を織り込み、EBITDA、営業利益及び経常利益の予想を下方修正いたします。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、本日発表の「資本提携契約の締結、第三者割当による新株式の発行(デット・エクイティ・スワップ(DES))による資本増強、第13回新株予約権の発行、主要株主の異動、資本金の額の減少(減資)、A種優先株式の無償取得と消却並びに債務免除益の計上のお知らせ」に記載の債務免除益の見込額150億円、及び2022年5月10日付「東浦工場におけるパネル生産終了のお知らせ」にてお知らせいたしました当社東浦工場(愛知県知多郡)の生産終了(2023年3月予定)に係る見込費用等を織り込み、前回発表予想を上方修正いたします。

なお、第4四半期会計期間の業績予想の前提為替レートは、1米ドル=145円から130円に変更しております。

以 上

上記の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。